

Gallery Hasu no hana を立ち上げより 6 年目に入り、展覧会と展覧会の間に常設展やアーカイブタームを取り入れることにしました。

●アーカイブタームはこれまでに紹介した作品の吸収、消化を目的とし、より深く作家を知っていただくための期間です。主には関連資料、書籍、図録、またアート関係のカタログなどを公開します。

●常設展では今までに企画展を開催した取扱作家を中心に各々のコンセプトの他、作品が持ち合わせている側面を新たにキュレーションし紹介してゆきます。

2017 年第一弾の常設展では、岩谷雪子、小方英理子、Hasu no hana では初めての参加となる水田典寿を加え、それぞれの作品を紹介いたします。

岩谷雪子の作品は、植物たちが自らの意思で集まり形を作った別のいきもののように見えますが、自然の強さ、恐さ、美しさも同時に持ち合わせています。

水田典寿の作品は、流木の中にかつての記憶を持った存在を掘り出してあげたかのな佇まいをしています。

扱っている素材、制作方法は異なりますが、制作の過程、あるいはもっと初期の段階から耳を澄ませて素材の声を聞く、またそこには言語ではないコミュニケーションから造形へと導いているような共通性を感じる作家です。

小方英理子は「動物と人との関係」や「素材としての生物」をテーマにしており、前述した 2 人の作家とは異なる素材と造形との関係性が見えてきます。作品たちからひそひそ声が聞こえてきそう展覧会になりそうです。

Dialogue in Silence 岩谷雪子 / 小方英理子 / 水田典寿

2017 年 1 月 14 日 (土) ~ 29 日 (日)

open: 月・火・水・土・日 16 時~21 時

close: 木・金

入場料: 無料

問合せ: e-mail hasucafe@sw.sub.jp

tel 03-3759-8470

会場: Gallery Hasu no hana

アクセス: 東急多摩川線鶴の木駅より徒歩 1 分。改札を出て左方向へ進み、交番のある信号を渡りさらに左に進み、長屋商店の 5 軒目です。

food: 世界の屋台! ファラフェルやります!! (ひよこ豆のコロッケ) その他アルコール&おつまみあり。

※展時室の奥側スペースは談話&food を楽しむコーナーになっています。



2017.01.14 - 29 at Gallery Hasu no hana Dialogue in Silence

yukiko iwatani
eriko ogata
norihisa mizuta



岩谷雪子 | yukiko iwatani

1958年札幌生まれ。武蔵野美術大学日本画科卒業。

現在高知在住。

世界を見つめる視点に変化をもたらす”装置”として、植物を用いて制作。展覧会の際にはなるべくその周りで植物を採集し、インスタレーションを中心に各地で発表している。

※本展では小作品での出品となります。

近年の主な展覧会

2016年 「越後妻有から」Hasu no hana

2015年 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」参加（新潟）

2014年 「岩谷雪子・田島征三展」田島征三 絵本と木の実の美術館（新潟）

info 2017年の展覧会予定

「暮らしの造形展 VII 岩谷雪子 富沢恭子」 3.4～3.20 ギャラリー百草（岐阜）

「Moving Plants」 7.1～10.1 Ronnebaeksholm（デンマーク）



小方英理子 | eriko ogata

1982年東京生まれ。武蔵野美術大学テキスタイルコース卒業。

”記憶をとどめる方法”、“素材と生き物の境界線”を掘り下げ、黒泥土や磁器によるタイル作品や、人物をモチーフにした立体作品を制作している。

またブローチ、ピアスなどアクセサリブランド eriko ogata としても活動の幅を広げている。

近年の主な展覧会

2016年 「crossed fingers」Hasu no hana（東京）/ Dessin（東京）

2014年 『Alphabet & Portrait』/ FALL（東京）、DESPERADO（東京）

info

本展には、陶作品他、2016年に制作した私家版作品集の販売もいたします。



水田典寿 | norihisa mizuta

1977年東京生まれ。

主に流木や鉄、廃材などを使いモノが持つ記憶や時間が感じられるような彫刻や家具などを制作している。

近年の主な展覧会

2016年 「この場所に吹く風」ギャラリー noir/NOKTA（静岡）

2015年 「水田典寿」展 Galley SU（東京）

その他

2016年 ART FAIR ASIA FUKUOKA アツコブルー（東京）

info 2017年の展覧会予定

2017 「生活工芸と作用」 1.18～2.15 la kagu 2F soko（東京）

「at that moment」 2.18～2.26 hase（名古屋）

「タイトル未定」 5.6～5.21 Galley SU（東京）